



アシスタントの削除

Unified CM Assistant のアシスタントを削除しても、Cisco Unified Communications Manager は、そのアシスタントをユーザとしてディレクトリに保持します。たとえば、アシスタント *thudson* が、*hart* と *dstewart* という 2 人のマネージャに割り当てられているとします。*thudson* と 2 人のマネージャとのアソシエーションを削除するには、アシスタントとしての *thudson* を Cisco Unified Communications Manager データベースから削除します。削除した後も、ディレクトリには *thudson* がユーザとして残ります。

Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除

削除する既存の記録を検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.32-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.32-3\)](#)

クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリ内にあるマネージャとのアソシエーションからアシスタントを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [マネージャ / アシスタント] > [アシスタントの削除] > [クエリー] の順に選択します。[アシスタントの削除 (Delete Assistants Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: アシスタント、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]

- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント

データベースに登録されているすべてのアシスタントを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。



(注)

アシスタントを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、**[絞り込み]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、**ステップ 2 ~ 3** を繰り返します。

ステップ 5 **[検索]** をクリックします。

検索されたアシスタントのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID (User ID)]
- [名 (First Name)]
- [ミドルネーム (Middle Name)]
- [姓 (Last Name)]
- [部署名 (Department)]

ステップ 6 **[ジョブ情報 (Job Information)]** 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 **[今すぐ実行]** オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、**[後で実行]** をクリックして後でアシスタントを削除します。

ステップ 8 **[送信]** をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 **[一括管理]** メイン メニューの **[ジョブスケジューラ]** オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 63 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.64-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.32-4 の「関連項目」](#) を参照してください。

カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のアシスタントのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するアシスタントのユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-4](#) の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してアシスタントのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [マネージャ / アシスタント] > [アシスタントの削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。[アシスタントの削除 (カスタム) (Delete Assistants Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [削除対象: アシスタント、検索条件] フィールドで、識別子 [ユーザ ID] を選択します。

ステップ 3 2 番目のフィールドである [カスタムファイル] ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

ステップ 4 [検索] をクリックします。

検索されたアシスタントのリストが表示されます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてアシスタントを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして後でアシスタントを削除します。

ステップ 7 [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ステップ 8 [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 63 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.64-4](#) の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.32-4](#) の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除 \(P.32-1\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除 \(P.32-1\)](#)